

第2回小平市立学校給食共同調理場運営委員会 会議要録

日時 令和元年12月10日(火) 15:30～16:30

場所 学校給食センター会議室

1 開会

2 委員長挨拶

3 議 題

(1) 協議事項 無し

(2) 報告事項

①給食食材の放射能検査結果…6月～10月分の結果報告。いずれも不検出。

(質疑応答)

・出荷元でも実施しているが、検査は継続していくのか。放射能は自然界にあるものだから無くなることは無い。他市でも同様か。

≫都道府県単位で実施している食材については検査をしていない。主に市内産野菜等の他で検査されていない食材を中心に検査している。

自治体により対応は様々。検査を中止した自治体もある。現在のところ小平市では継続する方向。

②ゼリーラベルデザインの選定結果…小平第一中・小平第三中の1年生に決定。

(質疑応答無し)

③小平市立学校給食センター更新事業 入札の不調に伴う事業スケジュールの変更

本年度は事業者の選定に向けて、入札の手続きを行っていたところ不調となったことから、経過報告及び今後のスケジュールの変更について報告する。

1 不調の概要について

平成29年度に策定した「学校給食センターの整備に関する基本的な方向性」に基づき、PFI手法による建替えの手続きを進めている。平成30年度は、事業者による事業内容を伝える事前説明会、事業者との個別対話等を行ったところ、複数の事業者から参加意向が確認された。令和元年度の6月に入札公告を行い、最終的に現在の委託業者が参加を表明したが、9月24日付で参加を辞退したことから、入札者が無い状況となり不調となった。

2 不調に至った原因

参加意向を示していた運営事業者に対し、不調後、ヒアリングを行い入札を見送った原因を確認した。

今般の不調の原因は急激な人件費の上昇による将来に向けた運営費リスクの見立て及び3階建てを想定したことにより建設費の折り合いがつかなかったことによるものであるとのこと。

④残食調査の結果

令和元年度1学期分の結果である。平成30年2学期から各学期に全校を調査するよう変更している。また、平成30年度1学期までは、学校全体の調査結果だが、新たな調査では各校の学年別、クラス別の残食量まで把握できるようになっている。

今後はこのような調査を継続し、残食量を減らすための学年毎の対応及びクラス毎の対応を図っていく。

(質疑応答)

- ・残食を減らす工夫は。
 - ≫栄養摂取基準の塩分が低く改定されたため、汁物の配食量を減らしている。現在、残食を計測していく中で、汁物を減らした効果があるのか観察していく。

- ・建替え期間中の代替給食での汁物は提供されるのか。
 - ≫提供は困難である。

- ・1食分の水分量は把握しているか。各献立の水分量が結局は配食量に影響し、残食量にもつながると思われるがいかがか。
 - ≫1食全体の水分量は把握できていない。水分量は配食量に影響するので、まずは汁物の量を減らし、1食の配食量を減らすよう対応している。汁物の水分を減らすだけなので、栄養価は変わらない。

- ・給食時間は何分か。
 - ≫配膳、片付け含め30分である。

- ・味の濃い献立や歯応えのある献立は咀嚼回数が増え、子どもの歯では噛みにくく残食となり易い傾向がある。歯が生え変わる小学生に多い傾向だが参考意見として伝える。

- ・牛乳の残りが多いが、対策は。
 - ≫今のところ牛乳の有効性を地道に伝えていくしかないと考えている。

<学務課長挨拶>

代替給食については随時、学校や保護者に情報を発信していく。

また、本委員会でも建替え情報を提供していく。